



## 国際教室だより

2026. 1. 27

上宇部小学校 国際教室担当

### 散在地域、山口県の現状 ～だからこそ！日本語指導担当者の ネットワーク～

県内で「国際教室」、「日本語指導担当者」が見られる学校を、いくつご存じですか？

おそらく、多くは見かけないのではないのでしょうか。

「国際教室」のように、



### 日本語担当が在籍する学校は、県内で数えるほど

しかありません。ですが、日本語指導を必要とする外国ルーツの子どもは、あちこちの学校にいます。このような地域である



教室で目立たないまま、  
困り感を持っている子もいます。  
「いっそ走り回って目立ったら、  
支援してもらえるかもしれない  
のに…」と言う方までいます。

山口県は「散在地域」と言われています。

日本語指導担当者が、複数校、掛け持つこともあります。

それでも、**担当者が行き渡らず、**

**適切な支援が受けられない子どもがいる**のです。

県内の担当者は、数が少ない上に、近隣で「市教研」などの研修機会も持つことができません。

ですが、個別のネットワークを広げ、自主的につながり、このような**現状や課題、指導方法などについて、情報交換**するよう努めています。

大学で、ボランティアで、地域で…と、さまざまな立場に関わる人たちと、オンラインや対面で、定期的に勉強会を持つようにしています。



県内の指導者仲間に支えられて、  
日々の研修に向き合っています。



山口県は、散在地域

子どもの日本語指導に関わる担当者の中でも、上宇部小学校で勤務できる私は、大変幸せな環境です。

・ **場所** 国際教室という場所

・ **人** 職員・保護者・県内の仲間

・ **時間** 本年度は常勤として十分な指導時間

「場所」「人」「時間」に、

恵まれているからです。

先生方は、転任先の学校で、支援を受けていない外国ルーツの児童に出会うかもしれません。

**自分では声をあげにくい児童の気持ちを汲みとり、支援につなげていただけると有難いです。**

## もうすぐ卒業 ～Qさんの成長～



6年生のQさんは、3年生の時、初めて日本の学校にきました。

**最初は、日本語が全く分からず**

ゼロからのスタートでした。

6年生になって、勉強や行事にますます全力で臨んでいるQさんですが、当初は、日々がんばりすぎて疲弊し、登校しぶりが見られたこともありました。

今のはつらつとした姿からは、想像がつかないと思います。

**遠い日本へやってきた子どもたちは、**

**大変な努力をして、今、笑って過ごしている**

のだということを、十分わかってあげたいと思っています。

↓最近のQさんの絵日記

↑来日したころの、Qさんの日本語学習記録

## 日本のお正月の遊びを体験！

日本のお正月について知り、**福笑い**と**かるた**をしてみました。

**福笑い**では、

「顔のパーツ」「方向」など、既習の語彙をたくさん使って楽しむことができました。

これは「目」です。  
上、上、もっと左！

**かるた**では、「読み札を読む」のを、何枚かずつ順番に受け持ちました。読むのが得意な子も苦手な子もありますが、相手の気持ちを考え、楽しむ姿が見られました。

